

令和6年度 平塚江南高校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規程の徹底）	法令遵守意識を向上させて、勤務時間の内外を問わず自らを律して行動する。	教育公務員として高い倫理観を保持して業務にあたることを確認し、服務規程を遵守し、行動することができた。また、気づいたことを互いに注意し合うことのできる風通しの良い環境を保持することができた。
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	人権意識を磨き、良好な職場環境の維持・確保に努め、ハラスメントを0にする。	不祥事防止研修を実施し、目標を達成できた。万一、不適切な言動があった場合は、見聞きした職員が注意をし、管理職に相談することができる環境が形成されている。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが人権意識を磨き、絶対に当該行為を行わない。	不祥事防止研修を実施し、不祥事ゼロの目標を達成できた。
体罰・不適切な指導の防止	常に相手の立場や人権に配慮した言動に努め、絶対に当該行為を起こさない。	不祥事防止研修を実施し、自己点検を日常的に行うこととし、目標を達成できた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止	全職員が当事者意識をもって業務に当たり、盤石な体制で臨む。	入学者選抜においては、研修を実施して注意すべき点を全職員で共有し、点検を丁寧に行うことにより、事故0を実現した。成績処理については、ヒヤリハットの事例を共有し、改善に努めた。
財務事務等の適正な執行	公費、私費ともに、会計処理上の事故・不祥事を未然に防止する。	私費会計について、研修用マニュアルを作成し、会計業務に係る留意事項を共有した。財務事務調査における指摘事項も減少させることができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の管理を徹底し、情報漏洩や不正利用、紛失や誤廃棄等を防止する。	不祥事防止研修を実施し、事故の起きる原因について理解し、リスクマネジメントを各自が行うことができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員として高い倫理観を持ち、法令遵守を励行し、交通安全に努める。	不祥事防止研修を実施し、不祥事を起こすことがないように、自身を律していくことの重要性を確認し、不祥事ゼロを実現した。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和6年度は、企画会議毎に事故防止会議を開催し、不祥事防止対策について情報を共有し、その内容を踏まえて、各グループにおいて、グループリーダーが不祥事防止研修を行った。学校運営協議会においても、その取り組みが評価された。令和7年度も研修形態は継続し、特に、成績処理及び進路関係書類作成に係る事故防止及びハラスメントの防止を重点課題とし、全職員一丸となって、不祥事防止に取り組んでいく。